

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式					
AA42G322	大分の人と学問(Introduction to Various studies Relating to Oita)					全学共通科目 福祉・地域	対面					
*大分を創る科目												
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員						
選択	2	1・2・3・4	教・経・医・理工・福	後期	他	氏名 上白木 悦子(学長補佐), 鈴木 雄清(IR), 牧野 治敏(教マ)						
E-mail suzuki@oita-u.ac.jp(鈴木) 内線 7069(鈴木), 7644(牧野)												
授業の概要	「おおいた地域連携プラットフォーム」を構成する大分県内の高等教育機関が、それぞれの特性を活かしながら相互に連携して実施する科目である。大分に関連する幅広い学問分野に触れ、地域の特色や先人の功績を学びながら、大分に関する教養を深める。そのために、大分県内の大学等に所属する教員が大分に関連する学問分野や人物を紹介する。単に大分のことを説明できるだけでなく、自らと関連づける学修に発展させる。											
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)											
目標1 大分の特色や課題について説明できる。	1	2	3	4	5	6	7					
目標2 大分に縁のある学問分野や人物について説明できる。												
目標3 テーマに基づいて他者と意見交換したり、協調しながら課題に取り組んだりすることができる。												
目標4 授業内容から派生的な課題を自ら見だし、文献等の調査に基づいたアイデアを論述することができる。												
目標5												
目標6												
目標7												
目標8												
目標9												
目標10												
授業の内容												
1	【オンデマンド型遠隔】オリエンテーション [鈴木雄清 (大分大学)]											
2	【オンデマンド型遠隔】今よみがえる田原淳の業績 [島田達生 (大分大学)]											
3	【オンデマンド型遠隔】『関あじ・関さば』を科学する [望月聡 (大分大学)]											
4	【オンデマンド型遠隔】集中授業の事前学修 [鈴木雄清 (大分大学)]											
5	【オンデマンド型遠隔】放生会 世界から見たその普遍性と特異性[飯沼賢司 (別府大学)]											
6	【集中(対面もしくは同時双方向型遠隔)】グループによる協同学習 [牧野治敏、鈴木雄清 (大分大学)]											
7	【集中(対面もしくは同時双方向型遠隔)】グループによる協同学習 [牧野治敏、鈴木雄清 (大分大学)]											
8	【集中(対面もしくは同時双方向型遠隔)】ポスター発表・協同学習の省察 [牧野治敏、鈴木雄清 (大分大学)]											
9	【オンデマンド型遠隔】おおいた過疎地域を元気にする産学連携 - 柚子の抗アレルギー能について [石川 雄一 (大分大学)]											
10	【オンデマンド型遠隔】大分県佐伯を拠点とする日本のトップ企業：株式会社山忠の事例より [藤本武士 (立命館アジア太平洋大学)]											
11	【オンデマンド型遠隔】原点から未来を考える：環境歴史学の道程とその後 [飯沼賢司 (別府大学)]											
12	【オンデマンド型遠隔】新型コロナ禍の省力事業と九州農業の現状 [大坪史人 (別府大学)]											
13	【オンデマンド型遠隔】大分県の中の朝鮮半島 [溝部 仁 (別府溝部学園短期大学)]											
14	【オンデマンド型遠隔】人間力概論 地域社会と人間力 [吉村充功 (日本文理大学)]											
15	【オンデマンド型遠隔】総まとめ											
ラック	A:知識の定着・確認	小テスト、省察を含むレポート課題、ループリックによる自己評価、フォーラムでの相互コメント、グループによる協同学習、ポスター発表					工夫	eラーニング(Moodleと動画配信)と対面授業のブレンド、おおいた地域連携プラットフォームの大学等間連携				
ニテ	B:意見の表現・交換						その他					
ンイ	C:応用志向											
グ	D:知識の活用・創造											
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	対面授業に向けて事前準備(大分に縁のある人物についての調査学習)を行う(4h)。										
	事後学修	課題の完成度を高める(15h)。繰り返し受験可能な小テストで復習する(4h)。分からない用語や疑問点を調べる(12h)。関連する文献を調査し、最終課題レポートを作成する(10h)。										
教科書	教科書は指定しない。 必要に応じて資料を配付する。											
参考書	必要に応じて指示する。											
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	フォーラムへのレポート課題投稿と相互コメント	36%										
	小テスト	24%										
	対面授業課題	20%										
	最終課題	20%										
すべての小テストおよびすべての課題の合格を単位取得の条件とする。												
注意事項	オンデマンド型遠隔授業12回と、集中形式の対面もしくは同時双方向型遠隔授業1回(1日3コマ連続)で実施する。 オンデマンド型遠隔授業の授業内容は主に過年度の情報を元に作成しており、順序・テーマ等は変更の可能性がある。 対面授業教室の収容人数で受講者数を制限する。											
備考	対面で実施の場合は、大分大学図書館ラーニングコモンズを使用する。やむを得ない理由で集中授業を欠席する場合は、電子メールで連絡すること。対面の場合は、可能な限り、バッテリー駆動可能なノートPCやタブレットPCを持参すること。集中授業は、状況によっては同時双方向型の遠隔授業として実施する。											
リンク												
	URL											